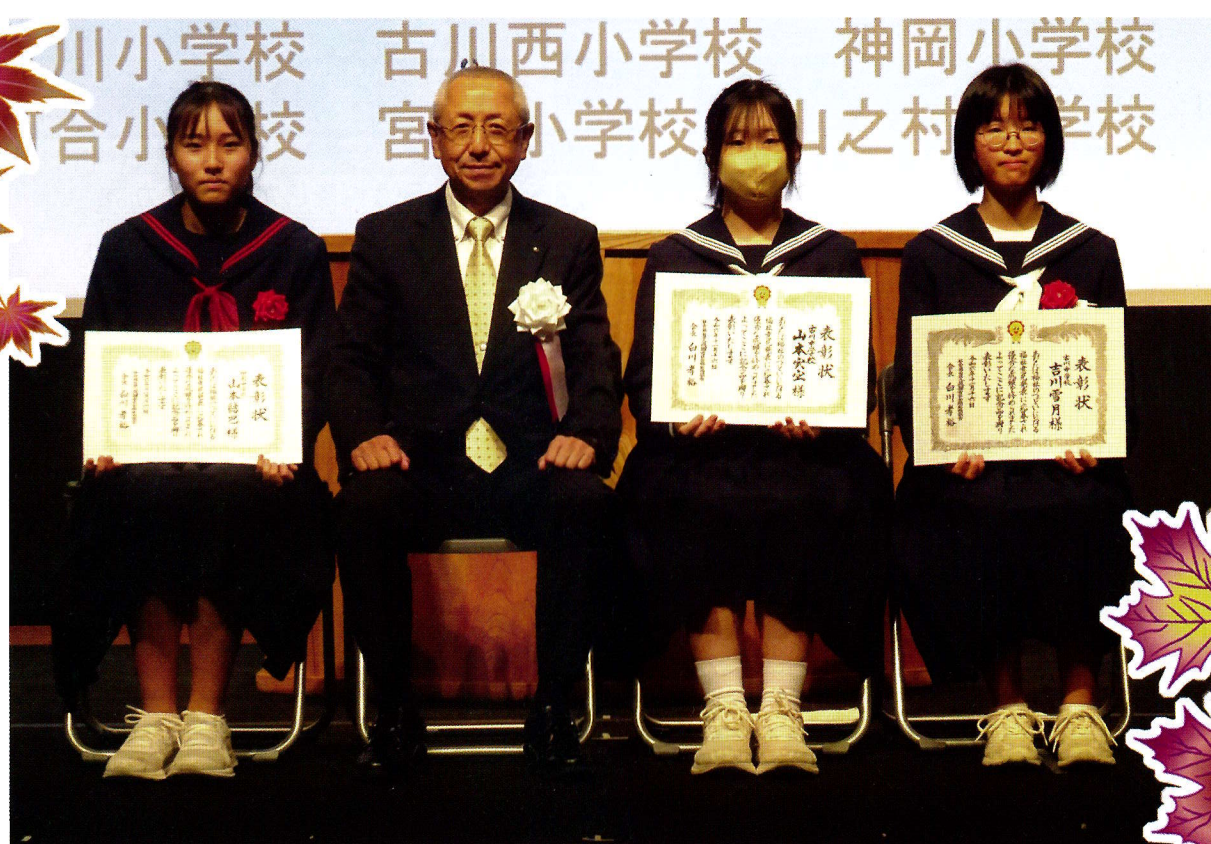


飛騨市社会福祉協議会

福祉協力校だより

令和6年12月16日発行



Contents

福祉協力校とは	P 2
各学校活動紹介	P 3
出前講座	
・ ボランティア体験報告	P 4
福祉意見発表	P 5 ~ 7
飛騨市社会福祉協議会福祉のつどい	
／福祉標語優秀作品	P 8

■11月16日(土)に行われた
「飛騨市社会福祉協議会福祉のつどい」の様子

福祉協力校

ふだんの **く**らしの **し**あわせ
の根を広げよう♪♪

私たちの地域で、誰もが幸せに暮らしていくためには何をしたらいいか。

ふだんのくらしの中の生活課題を解決していくためにはどのようにすればいいのか。

様々な人と共に考え、様々な体験を通して、共に生きるための地域づくりに取り組んでいます。



福祉協力校とは？

飛騨市社会福祉協議会では、市内各学校に通う児童・生徒の皆さんの社会福祉への理解・関心を深め、社会奉仕・社会連帯の精神を養い、地域福祉を推進することを目的として、市内の小学校、中学校、高等学校を「福祉協力校」に指定し、助成金を交付し、校内での福祉活動や地域に根ざした活動の実践を支援しています。



社協では福祉協力校と連携を取りながら様々な事業を行っています。

福祉のつどい
意見発表

福祉のつどい
福祉標語発表

出前講座

ボランティア
協力依頼

助成金の配分

【福祉協力校一覧】

飛騨市立古川小学校・飛騨市立古川西小学校・飛騨市立河合小学校

飛騨市立宮川小学校・飛騨市立神岡小学校・飛騨市立山之村小中学校

飛騨市立古川中学校・飛騨市立神岡中学校

岐阜県立吉城高等学校・岐阜県立飛騨神岡高等学校・飛騨吉城特別支援学校

活動紹介

福祉協力校で行われている
福祉に関連する活動を紹介します。



古川小学校	●飛騨市の福祉の現状について学習 ●地域の高齢者の方と暑中見舞い等の手紙を通した交流活動 ●募金活動(ユニセフ等) ●エコキャップ収集活動 ●アルミ缶回収
古川西小学校	●交流活動(保育園、地域のお年寄り、おあしす学級) ●飛騨市社会福祉協議会ボランティア体験参加(募金ボランティア等) ●さくらの郷との交流会
河合小学校	●ペットボトルキャップ、空き缶、ベルマーク集め ●ふるさと大運動会での地域の方とのふれあい ●福祉施設等の慰問
宮川小学校	●保育園との交流会 ●宮川町に伝わる民話をテーマにした版画カレンダーの作成、配布
神岡小学校	●飛騨市の福祉の現状についての学習 ●老人福祉施設への訪問、交流
山之村小中学校	●地域の方との交流活動 →運動会、文化祭、雪上運動会、ふるさと学習会等への招待 ●お年寄りとの交流活動→年賀状発送
古川中学校	●ペットボトル、アルミ缶回収 ●朝の挨拶活動 ●高齢者への手紙の発送
神岡中学校	●アルミ缶回収活動への協力 ●地域の挨拶運動への参加 ●防災かるたを作成し、地域の保育園、小学校へ配布
吉城高等学校	●高齢者体験教室 ●和光園との交流会、清掃活動、雑巾寄付 ●福祉の仕事についての学習会
飛騨神岡高等学校	●双葉保育園との交流会 ●給食サービス事業への協力 ●たんぽぽ苑でのボランティア活動 ●交通安全キャンペーンへの参加 ●ロボット部のボランティア活動
飛騨吉城特別支援学校	●地域(殿町青龍会)との交流 ●古川小学校との交流(図書館交流) ●吉城高校との交流(家庭クラブ、吹奏楽部演奏会) ●地域文化活動の参加(写真展、作品展)

出前講座・ボランティア体験・報告

5月15日(水)
古川西小学校
4年生

福祉って
なんだろう

5月24日(金)
古川小学校
4年生

「福祉」とは

6月6日(木)
神岡小学校
5年生

福祉について

7月12日(金)
飛騨神岡高等学校

音訳ボランティア
について

8月18日(日)
飛騨市福祉・
ボランティア
フェスティバル

赤い羽根共同募金
募金ボランティア

10月1日(火)
古川小学校
4年生

高齢者疑似体験
車いす体験

10月22日(火)
古川西小学校
4年生

高齢者疑似体験
車いす体験

10月28日(月)
古川小学校
4年生

インスタントシニア体験
車いす体験

10月31日(木)
古川小学校
4年生

視覚障がいの
ある方から学ぶ
講師 下梶 宮子氏

11月28日(木)
神岡小学校
5年生

視覚障がいについて、
盲導犬について
講師 下梶 宮子氏





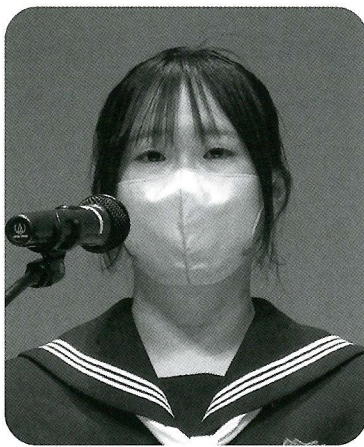
誰かを支えたい

古川中学校三年 山本 実空

私の将来の夢は「精神保健福祉士」です。精神保健福祉士とは、病院や施設に入院・入所中の精神障害者の在宅生活への移行や、その後の生活支援を行う国家資格です。私がこの職業を目指すのは、誰かを支えたいからです。そう思うきっかけとなった出会い

が二つあります。

一つ目は、パートナーを支える人との出会いです。中学二年生のとき、私はインターネットで、ある動画を見ました。それは、「妻がうつ病になる前と後」という内容のものでした。奥さんは会社でのストレスがきっかけで、うつ病を発症しました。うつ病になる前と後の違いは大きく、自分の感情が薄れて表情がなくなったり、一日中ベッドから動けず、活動が困難になったりしていました。うつ病は精神の病気なので、外からは見えにくいと思っていました。実は日常生活にも大きく影響することを知り、私はとてもびっくりしました。



調べてみると、うつ病だけでなく、統合失調症や不安障害、パニック障害などの病気も、以前のような生活を送ることが困難になってくるものだと分かりました。こういう病気の方には、そばで支える存在が欠かせません。この動画を撮っている旦那さんは、家事を担当したり、一緒に外出をしたり、眠れない奥さんが安心して眠れるまで付き添ったりして、奥さんを支えていました。一人の人に尽くし、間近で支える姿が素敵だと、私は感じました。福祉士はこの旦那さんのように、病気になる前から一緒にいるわけではありません。しかし、この二人を見て、私も精神の病気で困っている人を間近で支えたい、と強く思うようになりました。

二つ目は、自分を支えてくださる人との出会いです。私は中学一年生のとき、自分自身の性格のことで悩んだことがありました。悩んだ末、あるとき勇気を出して保健室の先生に相談しました。先生は、何も言わずにひたすら私の話を聞き、その後に先生なりの答えやアドバイスをくださいました。先生が温かく受け止めてくださったおかげで、当時の私はすごく救われたし、安心できました。先生はそれから

時々、私の話を聞いてくださいました。私は病気にはなっていなかったのですが、外から見ても、はつきりと分かるような変化はなかったと思います。でも、悩んでいる本人はとっても辛いのです。そんなときに、支えてくれる人がいるというのは、とても心強いと思いました。精神の病気で困っている人を支える存在を知ったことと、自分自身が支えられる経験をしたことで、私の中に「誰かを支えたい」という思いが芽生え、精神保健福祉士を目指すようになりました。

この夢を叶えるために、私は自己理解を深め、福祉士にとって大切な力を伸ばす努力をしています。

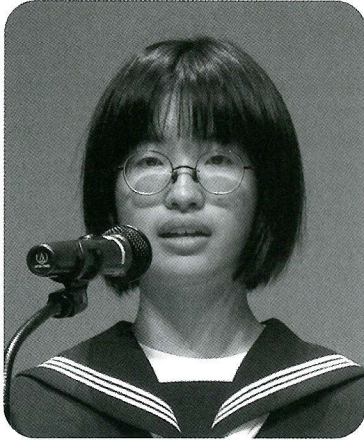
まず、私は何かと長期間向き合うことが苦手な面があります。精神保健福祉士の資格を取得するには、長期にわたって努力を続ける必要があります。また、この仕事は一人の患者さんに長期間向き合う必要があります。だから、一つ一つの小さな目標の達成を積み重ねることを意識し、改善に努めています。例えば今は、苦手な数学と英語の基礎固めや、合唱祭で歌う曲の高音部分の練習を毎日続けています。

このようにして、段階的に進める力や根気強さを身につけ、相手に向き合

令和6年度 福祉意見発表応募優秀作品

飛騨市に住む中学生の福祉に対する意識を高めるとともに、福祉の心を育てることを目的に、福祉意見を募集いたしました。その中から、優秀作品をご紹介します。

飛騨市の将来を担う中学生による、学校や地域福祉、家庭、将来の夢についての意見や強い思いをぜひご覧ください。



い続けることができるようになるうと思ひます。

また、私は「共感力」が強い方です。この力は患者さんの気持ちを汲み取って、適切にサポートするのに役立ちますが、その反面、感情移入しすぎて、自分が精神的に辛くなるおそれもあります。そのため、私は自己ケアを大切

感動はエンジン

古川中学校三年 吉川 雪月

私の母方の祖母は、家が近くよく車で遊びに来てくれます。吊るし雛、絵手紙、手芸などが得意で、とても多才です。また、「孫が来てくれるだけで幸せ。」というLINEメッセージや、手作りのブローチをくれるなど、私を大切にしてくれる優しい祖母です。

にしています。他人の感情に巻き込まれそうになった時には、音楽や絵などで気持ちをリセットするように心がけています。

この職を目指していく中で、困難なことは絶対にあります。それでも「支えたい」という気持ちを胸に、これからも夢に向かって頑張ります。

そんな祖母の体に、一年ほど前から変化があらわれました。元々歩き方に癖がありましたが、足がもつれて転ぶことが増え、頭を怪我したこともありました。私は何度も転ぶ祖母を心配し、悲しい気持ちになりました。

しかし、一方では祖母と話すことを面倒くさいと思う自分がいました。祖母が話にくくなり、こちらでも聞き返すことが増えたからです。それが面倒で、私から祖母に話しかけることが減ってしまいました。祖母が私を大切にしてくれるからこそ、自分の態度を申し訳なく思いましたが、何をどう話せばよいのか、分からなくなっていました。

今年の夏、祖母は岐阜大学病院に入院し、筋萎縮性側索硬化症、略して「ALS」と診断されました。ALSとは、筋肉が痩せていき、力が入らなくなる病気です。現在は有効な治療法がなく、完治することはありません。知覚障害は起こりにくく、意識ははっきりしていますが、自分で動けなくなっていくため、「残酷な病気」と言われています。

祖母の病名を聞いたとき、私はまったく実感が湧きませんでした。こんなに重い病気だとは思ってもみなかったため、心構えができていなかったのです。でも、時間が経つと徐々に実感が湧き、これからの祖母の生活が心配でたまらなくなりました。同時に、これまで祖母に頼りっぱなしだった自分に気づきました。

残された時間、私は祖母に何ができるのだろう。これまで祖母に頼ってきた分、自分が祖母の役に立ちたい。そう考え、病気になつて感じたことを、祖母に尋ねてみました。すると祖母は、「電車で受ける気遣いや街の便利な設備が嬉しい。それに、一緒に働く人とお茶を飲みながらおしゃべりするのが楽しい。」

と答えました。それを聞いた私は、祖母からの絵手紙にあった言葉を思い出した。

ました。それは、「感動はエンジン」という言葉です。祖母は、人との関わりで感じた日常の小さな感動を生きるエンジンにして、病氣と闘っているのだと思います。人との関わりが大切だとはよく言いますが、病気の当事者である祖母から聞いたからこそ、その意味を真に理解できた気がします。

これからの残された時間、私は祖母に多くの感動や喜びを感じてほしいと思います。そのために、私は積極的に祖母に話しかけたり、祖母の話を根気よく聴いたりしています。先日は、祖母の作った肉じゃがを食べて、「おいしい。また食べたい。」と言ったところ、祖母はとても喜んでくれました。祖母が喜ぶ顔を見ると、自分もうれしくなり、もっとたくさん話しかけようという気持ちになりました。

また、私は高山の高校への進学を考えており、高校に近い祖母の家から通う予定です。家事の手伝いや日常生活の介助をしながら、たくさん話をしたいと思います。今よりもたくさん関わることで、祖母が新たな興味・関心を見つけ、それが新たな感動につながるでしょう。

祖母の病状は進行が速い方だそうで



す。あと何年生きるのか、正確には分かりません。短いかもしれないが、私が祖母との関わりの中で日常の小さな感動を大切に、思いやりを忘れないことで、祖母や周りの人と生きるエンジンを見つけていきたいです。

「ふるさと貢献」とは

神岡中学校三年 山本 結巴



私の通う神岡中学校には、生徒一人一人に「ふるさと貢献カード」というものが配られます。これは、ボランティア活動に参加したとき、その内容を記録して、自分の足跡とするためのものです。ボランティア活動に参加して、少しずつ記録が増えてくると何だか嬉しい気持ちになるのですが、一つだけ、ちよつとした疑問がありました。

それは、地域の祭りに参加したこともカードに記入してよい、という点です。もちろん、祭りに参加というのは、屋台を見て楽しんだり、食べ歩いたりすることだけでなく、祭りの役として参加することです。

私は毎年、春にある神岡祭りに参加しています。きつかけは、友達から声をかけてもらったことでした。祭りの練習と部活動が両方あって大変なのですが、その忙しさも私は好きです。本番の日に、たくさんの人の前で笛を吹き、大きな拍手をもらいます。大きな達成感を感じられるこの役に、とてもやりがいを感じています。

しかし、祭りとはボランティアの関連性がよくわかりません。私の中のボランティアというのは、自分の時間を使

って、困っている人やお世話になっている地域に対して、お金を貰わずに働くようなイメージです。また、福祉というと、高齢者の介護をする仕事を想起します。

一方で、私が祭りに参加する理由は、前述のように、友達と一緒に練習するのが楽しかったり、当日、多くの人に努力の成果を認めていただいたりするからであり、さらには、お金ももらえたりするからです。

私は、学校の先生に、「祭りも、地域貢献に含んでいいんですか？」と質問しました。その先生は、『福祉』って、辞書でひいてごらん。あなたの考えのヒントになるよ。」と言われました。私が辞書で『福祉』とひくと、「人々の生活上の幸福。」と書いてありました。短く、抽象的な言葉でしたが、なんだか深い意味を感じました。

そして、ある場面が頭に浮かんできました。神岡中の生徒会役員の先輩は、毎朝、玄関であいさつ運動をしています。生徒会担当の先生に言われたからでなく、先輩方がやり始めたことです。私も、先輩が参加しているから一緒にあいさつ運動をしています。先輩の表情は、とても明るく、すがすがしい感じがします。

私が、そう感じるのは、先輩方が自己満足のために取り組んでいるのではなく、挨拶が返ってきて、お互いに爽やかな気持ちになっているからではないでしょうか。自分も周囲も幸せになれる行動が、福祉の本質なのだと思います。

それ以来、私はボランティアの募集を見たときは、「人々の幸福につながるかどうか考えるようになりました。私が参加を決めた、花火大会の後のゴミ拾いのボランティア。ふるさと神岡町がきれいだと、地域の方も私もうれしいです。MSJリーダーズの挨拶活動。私も、先輩のように多くの人を笑顔にして、自分も笑顔になれるように活動しています。

私は今年と同じように、来年の神岡祭に参加しようと思っています。でも、思いは今年と違うと思います。ふるさと神岡の伝統を守るため。そんな、神岡のよさを観光客に見てもらうため。祭りを見てくださった方も、私も、友達も、みんなが幸せな気持ちになったら、自信をもってふるさと貢献カードに「祭りに参加した。」と書きたいです。

飛騨市社会福祉協議会

福祉のつどい

を開催しました

令和6年11月16日(土)に、飛騨市文化交流センターにて福祉のつどいを開催し、約200人の市民の方々にご来場いただきました。

今年は、3年に一度行う、飛騨市内で福祉事業にご尽力いただいた方々の表彰式、市内中学生による意見発表、市内小学生による福祉標語の紹介を行いました。

表彰式及び福祉意見発表の後に、福祉映画「めんたいぴりり」の上映を行いました。

福祉標語優秀作品

市内各小学校から福祉標語の募集を行いました。今後、地域を支える人材になっていただくことを期待し、優秀作品を紹介いたします。

飛騨市立古川小学校 谷口 諒馬

気を付けて 今日頑張る
ありがとう

飛騨市立古川西小学校 堀 由乃

みつけよう 自分と相手の
よいところ

飛騨市立河合小学校 河渡 彩月

優しさで 自分のまわり
暖かい

飛騨市立宮川小学校 岡田 陽斗

子どもみて動いてくださる地域の人
ぼくらのために あたたかいなあ

飛騨市立神岡小学校 前田 心桜

あいさつは 笑顔あふれる
おまじない

飛騨市立山之村小学校 小萱 柚奈

一人の笑顔 段々笑顔が
増えていく

【お詫びと訂正】令和6年11月に発行いたしました福祉ひだの掲載内容に誤りがありました。

<6P 飛騨市社会福祉協議会表彰者>

正 河内 久之 神岡地区

谷口 満 河合地区

誤 河内 久之 古川地区

谷口 満 神岡地区

ここに訂正してお詫び申し上げます。

関連事業についての
お問い合わせは

飛騨市社会福祉協議会

TEL0577-73-3214

飛騨市社協 検索

〒509-4221 飛騨市古川町若宮二丁目1番60号

■URL <http://www.hidasi-syakyo.net/> E-mail: info@hidasi-syakyo.net

*この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。



しゅ
ひだ守ちゃん